

令和元年度
事業報告

社会福祉法人 奈良県社会福祉事業団

目 次

1 総括	1
2 法人運営	1
3 奈良県障害者総合支援センターの運営状況	5
(1)わかくさ愛育園の状況	5
(2)自立訓練センターの状況	9
(3)社会就労センター(就労継続支援事業B型)の状況	12
(4)高次脳機能障害支援センターの状況	13
4 県営福祉パーク(介護実習・普及センター)の運営状況	15
5 職員の状況	17

令和元事業年度事業報告

1 総括

奈良県社会福祉事業団が、奈良県の設置する障害者総合支援センター、県営福祉パーク及び福祉住宅体験館の指定管理業務を受託して以来、令和元年度は3期目の4年度目でありました。

当事業団では、奈良県総合リハビリテーションセンターと緊密に連携して、障害の程度が重い方や重症心身障害児(者)に対して、理学療法士などの専門職の配置や手厚い福祉サービスを提供するとともに、近年増加している高次脳機能障害者や発達障害児を対象とした事業を推進しました。

また、自立訓練センター内に浴室を整備し、10月よりシャワー浴等入浴サービスの提供を開始いたしました。

2 法人運営

(1) 会議等

ア 理事会

開催回数	年月日	場所	出席者	議題等
第1回	令和元年 5月29日	奈良県 文化会館	理事4名 監事2名	1 議決案件 (1) 社会福祉法人奈良県社会福祉事業団定款の一部変更について (2) 平成30年度事業報告について (3) 平成30年度財務報告について (4) 承認社会福祉充実計画の変更について (5) 令和元年度第1回評議委員会の招集について
第2回	令和元年 6月20日	リガーレ春 日野	理事5名 監事1名	1 議決案件 (1) 理事長、副理事長、常務理事の選定について (2) 評議員会提案事項の決議方法について 2 報告案件 (1) 理事長、副理事長、常務理事の職務執行状況について
第3回	令和元年 10月30日	奈良県総 合リハビリテ ーションセ ンター	理事4名 監事2名	1 議決案件 (1) 就業規定等の一部改正について 2 報告案件 (1) 令和元年度上半期事業報告について

				(2) 令和元年度上半期財務報告について (3) 社会福祉充実計画の進捗報告について (4) 理事長、副理事長及び常務理事の職務執行状況報告について
第4回	令和2年 3月26日	奈良県総合リハビリテーションセンター	理事6名 監事2名	1 議決案件 (1) 令和元年度資金収支補正予算(案)について (2) 令和2年度事業計画及び資金収支予算(案)について (3) 就業規定等の一部改正について (4) 評議員選任候補者の推薦について

イ 評議員会

開催回数	年月日	場所	出席者	議題等
第1回	令和元年 6月13日	奈良県文化会館	評議員 5名 理事3名 監事2名	1 議決案件 (1) 社会福祉法人奈良県社会福祉事業団定款の一部変更について (2) 役員報酬等に関する基準の制定について (3) 平成30年度貸借対照表、収支計算書及び財産目録の承認について (4) 承認社会福祉充実計画の変更について (5) 理事・監事の選任について 2 報告案件 (1) 平成30年度事業報告について

ウ 評議員選任・解任委員会

開催回数	年月日	場所	出席者	議題等
第1回	令和元年 5月14日	奈良県社会福祉総合センター	委員3名 理事2名	1 議決案件 (1) 評議員の選任について

エ 奈良県介護実習・普及センター運営委員会

開催回数	年月日	場所	出席者	議題等
第1回	令和2年 3月3日	奈良県介護 実習・普及 センター	委員	新型コロナウイルス感染防止のため中止

オ 施設部経営管理改善委員会

開催回数	年月日	場所	出席者	議題等
第1回 ～ 第12回	平成31年 4月16日 ～ 令和2年 3月16日	奈良県社会 福祉事業団 会議室	所 長 副 所 長 事務部長・課長 施設部長・次長 施 設 部 主 任	(1)施設部の経営状況について (2)当面の経営改善について (3)その他

カ 奈良県障害者総合支援センター、県営福祉パーク及び福祉住宅体験館の指定管理連絡会議

開催回数	年月日	場所	出席者	議題等
第1回	令和元年 5月31日	奈良県障害 者総合支援 センター	行政経営・ファシリテ イマネジメント課2名 障害福祉課1名	平成30年度事業報告及び決算状況に ついて
第2回	令和元年 11月29日	奈良県障害 者総合支援 センター	行政経営・ファシリテ イマネジメント課2名 障害福祉課1名	1 令和元年度上半期の利用実績に ついて 2 令和元年度重点事項の進捗状況 に ついて

(2) 広報事業

名称	発行時期等
ア 機関誌 (奈良県社会福祉事業団ニュース「きらり」)	令和元年9月11日(第19号) 令和2年3月16日(第20号)
イ ホームページ	随時更新
ウ 利用者満足度調査 ・わかき愛育園 ・自立訓練センター ・社会就労支援センター ・県営福祉パーク	令和2年2月20日～3月2日 令和2年2月21日～3月6日 令和2年2月14日～2月28日 見学者及び研修講座の都度

(3) 監査

ア 監事監査

年月日	場所	監査事項
令和元年5月13日	奈良県障害者総合支援センター	1 平成30年度の業務執行状況について 2 平成30年度の財務状況について

イ 奈良県監査指導室監査

年月日	場所	監査事項
令和元年10月14日	奈良県橿原総合庁舎	わかき愛育園(医療型・福祉型・重心児)

3 奈良県障害者総合支援センターの運営状況

(1) わかくさ愛育園の状況

わかくさ愛育園は、児童福祉法に基づく「児童発達支援センター」として、親子間の心の絆をつくり、子どもの心を安定させることに留意しながら児童個々の必要に応じた機能回復訓練、感覚運動学習を含む基礎保育を展開し、日常生活における基本的な動作や知識技能の獲得、集団生活への適応の取り組みを進め、各児童の成長・発達を支援した。

重症心身障害児(者)関係では、療育的な関わりに加え、生活経験を豊かにすることを目標に、スポーツレクリエーション、季節の行事、音楽などの活動や入浴サービス等生活介護を提供した。

また、障害児相談支援事業では、障害のある子どもたちとその保護者からの相談に応じ、抱える課題の解決や適切な障害福祉サービス等の利用に向けて、情報の提供及び助言を行い、併せて市町村及び障害福祉サービス事業者等との連絡調整を図るなど総合的な支援を図った。

ア 通園児(者)入退所状況

(単位:人)

施設別	入退状況 定員	在籍数			退所 児童数	左の内訳						3/31 在籍児 (者)数
		前年度 引継	本年度	計		特別支援 学 校	小学校	幼稚園・保育所 並行通園の利用 無 有	他施設	その他		
医療型児童発達支援センター	70	8	9	17	10	1	1	4		4		7
児童発達支援センター(知的)	30	40	42	82	35	5	17	9	(4)	3	1	47
内、並行通園等		24	26	50	27	2	17	7		1	(5)	23
保育所等訪問支援		0	2	2	1	1						1
児童発達支援センター(重心児)	15	6	9	15	2	1					1	13
生活介護		16	0	16	0							16
計	115	70	59	132	48	8	18	13	(4)	7	2	84
内、並行通園等		24	26	50	27	2	17	7			(5)	23
平成30年度	115	85	32	117	46	11	13	14	(2)	7	1	71
内、並行通園		30	11	41	17	3	10	4				24

※自動発達支援センター(知的)の3/31在籍児数中4人は毎日通園から並行通園に、5人は並行通園等から毎日通園に変更

イ 通園児(者)疾患別・年齢別状況

(単位:人)

区分 疾患別 年齢別	医療型児童発達支援センター						児童発達支援センター(知的) 保育所等訪問支援					児童発達支援センター(重心児)・ 生活介護					合計		
	脳性まひ	脳原性発達障害	筋障害	染色体異常	その他	計	知的遅れなし	知的遅れあり				計	脳性まひ	脳原性発達障害	筋障害	染色体異常		その他	計
								発達障害	染色体異常	病理的原因あり	その他								
1歳						0					0	2					2	2	
2歳					2	2		4	1	1	6	2			1	2	5	13	
3歳	1	4			2	7		11			2	13				1	1	21	
4歳				2	2	4		23			23					3	3	30	
5歳		2				2	4	10		1	14		1			1	2	19	
6歳	1		1			2	2	20	2	1	2	27		1			2	31	
小計	2	6	1	2	6	17	6	68	3	2	5	84	4	2	0	2	7	15	116
18~19歳																			
20~29歳													1				7	8	8
30~39歳													2				6	8	8
40歳以上																			
小計													3				13	16	16
計	2	6	1	2	6	17	6	68	3	2	5	84	7	2	0	2	20	31	132
H30	3	6	1	1	4	15	8	55	2	1	5	71	5	4	0	1	21	31	117

(注)知的遅れなし:発達障害ほか/発達障害:自閉傾向のある者を含む/染色体異常:ダウン症ほか

ウ 障害児相談支援事業の状況

(単位:件)

区分	支援計画作成件数	モニタリング実施件数	サービス提供時 モニタリング件数
令和元年度	55	30	36
平成30年度	61	38	34

エ 発達障害児医学的療育支援事業の状況

「子ども地域支援事業」として、発達障害あるいは発達障害の疑いのある子どもが、地域社会の中で生き生きとした生活を送るために感覚統合療法等を用いた専門的な支援を行うことを目的とし、施設訪問事業及び、研修会講師派遣事業を実施した。

○ 訪問事業・研修会講師派遣事業

区 分	施設訪問事業		研修会講師派遣事業	
	件 数	相談児童数	件 数	研修会参加者
令和元年度	305件	1,364人	12件	350人
平成30年度	310件	1,388人	12件	295人

○ 訪問事業の訪問先

区 分	件 数	相談児童数
小学校	59件	263人
中学校	0件	0人
特別支援学校	2件	8人
幼稚園	77件	339人
幼児園・子ども園	27件	131人
保育所(園)	83件	398人
学童保育所	22件	86人
療育教室、施設	12件	54人
デイサービス	23件	85人
計	305件	1,364人

オ 保育所訪問支援の状況

わかくさ愛育園を利用している園児が、集団生活に適応することができるよう、当園保育士が地域の保育所等を訪問し、園児本人、保護者、保育所等スタッフに支援を行う。

○ 訪問先別件数

(単位:件)

訪問先	園数	件数
保育所・(園)	1	4
幼稚園	1	2
合計	2	6

○ 市町村別件数

(単位:件)

訪問先市町村	園数	件数	訪問先市町村	園数	件数
葛城市	1	4	田原本町	1	2
合計				2	6

○ 相談・支援内容

集団生活、活動への参加状況について

- ・ 他の園児と仲良く遊んでいるか
- ・ 友達づくりができていますか
- ・ 集団活動ができていますか
- ・ 身の回りのことが自分でできていますか

サポート体制について

- ・ スタッフが園児の特性を理解しているか
- ・ どのように保育での関わりをしているか

(2) 自立訓練センターの状況

障害者総合支援法に基づく指定障害者支援施設として、自立訓練(機能訓練・生活訓練)及び施設入所支援を行った。

利用者が地域社会で自立した生活を営むことができるよう、利用者の障害特性や個々のニーズに即した質の高い障害者支援サービスの提供に努めた。

また、地域での居宅生活を営む者で、主たる介護者の疾病、その他の理由により、短期間の入所を必要とする障害者につき、入浴・排せつ・食事等の介助及び必要な支援を行った。

ア 日中活動サービス

○ 指定障害者支援施設の利用状況

(単位:人)

区分	利用契約 状況	定員	1日当たり 利用者数	実利用者数			契約 解除 数	左 の 内 訳				3/31 在籍 者数
				前年度 引継	本 年度	計		就職	他施 設	医療 機関	家庭 復帰	
自立訓練(機能)		45	25.2	34	24	58	20	0	6	1	13	38
自立訓練(生活)		30	19.9	38	16	54	20	5	2	0	13	34
計		75	45.1	72	40	112	40	5	8	1	26	72
平成30年度		75	44.2	75	37	112	40	0	4	4	32	72

○ 利用契約者の障害別状況

(単位:人)

区分	脳血管疾患	脳性麻痺	脊椎損傷	頭部損傷	その他	計
自立訓練(機能)	36	1	4	4	13	58
自立訓練(生活)	27	0	0	17	10	54
計	63	1	4	21	23	112
平成30年度	58	3	4	20	27	112

○ 利用契約者の年齢別状況

(単位:人)

区 分	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	計
自立訓練(機能)	0	5	2	12	21	17	1	58
自立訓練(生活)	0	5	3	6	20	17	3	54
計	0	9	5	17	38	34	4	107
平成30年度	0	6	6	29	42	28	1	112

イ 施設入所支援サービス

○ 指定障害者支援施設の利用状況

(単位:人)

利用契約 状況 区 分	定 員	1日当たり 利用者数	実利用者数			契 約 解 除 数	左 の 内 訳				3/31 在籍 者数
			前年度 引継	本 年 度	計		就 職	他施 設	医療 機関	家庭 復帰	
令和元年度	40	32.1	26	22	48	12	0	4	0	8	36
平成30年度	40	29.4	37	11	48	22	0	3	3	16	26

※施設入所支援平成30年7月より定員変更

○ 利用契約者の障害別状況

(単位:人)

区 分	脳血管疾患	脳性麻痺	脊椎損傷	頭部損傷	その他	計
令和元年度	32	0	3	6	7	48
平成30年度	36	0	2	5	5	48

○ 利用契約者の年齢別状況

(単位:人)

区 分	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	計
令和元年度	0	4	2	6	18	17	1	48
平成30年度	0	1	2	12	18	15	0	48

ウ 短期入所支援サービス

○ 指定短期入所事業の利用状況

(単位:人・日)

区 分	利用者数	延べ利用日数
令和元年度	6	201
平成30年度	10	359

○ 利用契約者の障害別状況

(単位:人)

区 分	脳血管疾患	脳性麻痺	脊椎損傷	頭部損傷	その他	計
令和元年度	2	1	1	2	0	6
平成30年度	3	3	2	2	0	10

エ 計画相談事業

(単位:件)

区 分	利用計画作成件数	モニタリング実施件数
令和元年度	28	47
平成30年度	24	32

(3) 社会就労センター(就労継続支援事業B型)の状況

利用者の重度化・高齢化に対応して、その能力や特性に応じた支援方法を工夫し、重度者に対して適切な作業を提供するため、新たに新規事業者2件との取引を受注し、作業種目の多様化と作業量の安定化を図った。また取引業者との間で、随時、価格交渉にも取り組み工賃向上に努めた。利用者増を図るため、1月よりリフト付き自動車による送迎サービスを開始し、現在3名が利用。また県内の観光土産品となるよう自主生産品の制作に取り組み、地域の店舗に委託販売を開始した。

ア 利用状況

(単位:人)

区分	利用契約 状況	定員	1日当たり 利用者数	実利用者数			退 所 者 数	左 の 内 訳				3/31 在籍 者数
				前年度 引継	本 年 度	計		就 職	他施 設	医療 機関	家庭 復帰	
令和元年度		30	24.0	30	4	34	2	0	1	0	1	32
平成30年度		30	24.0	28	2	30	0	0	0	0	0	30

イ 年齢別・原因疾病別状況

(単位:人)

疾病別\年齢別	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	計
脳性麻痺	0	0	0	0	1	0	0	1
脳血管障害	0	0	0	1	5	8	0	14
脊椎損傷	0	0	0	0	1	0	0	1
頭部損傷	0	0	0	4	2	0	0	6
知的障害	0	2	0	1	0	1	0	4
その他	0	0	0	2	2	0	1	5
計	0	2	0	8	11	9	1	31
平成30年度	0	2	2	7	10	8	1	30

ウ 工賃の状況

区分	延べ支払対象人員数	工賃支払額	月額平均工賃
令和元年度	361人	4,560,687円	12,633円
平成30年度	347人	4,984,318円	14,363円

(4) 高次脳機能障害支援センター運営事業の状況

高次脳機能障害者に対する支援を総合的に行う県の拠点として、本人等からの相談に応じ適切な指導又は助言を行うとともに、関係機関等との連携強化により、高次脳機能障害者に対する総合的な支援体制の整備を推進し、高次脳障害者及びその家族の福祉の向上を図った。

ア 個別相談事業、検査・診断事業

(単位:件)

区 分	延べ 相談件数	左 の う ち		診 断	神経心理学 検査
		来所相談	訪問相談		
令和元年度	2,874	525	33	60	37
平成30年度	2,880	468	17	53	39

イ 普及・啓発事業 参加者総数:489名

区 分	開催日	内 容	参加人数
高次脳機能 障害支援セ ンター主催	令和元年9月28日 奈良県産業会館 大会議室	高次脳機能障害研修会(一般県民・家族・支援者関係機 関等職員対象) 講演1:「高次脳機能障害を理解しよう」 講師: 独立行政法人国立病院機構 奈良医療センター 院長 平林秀裕先生 講演2:「高次脳機能障害になって気づいたこと、 伝えたいこと」 講師:文筆業 鈴木 大介先生	148名
講師派遣	令和元年5月29日	高次脳機能障害勉強会(自立訓練センター職員対象) 「高次脳機能障害の症状理解～事前情報から高次 脳機能障害の症状を考察する」 テーマ:高次脳機能障害者の支援について 講師:自立訓練センター 看護師 須内 陽子 高次脳機能障害支援センター 河地 睦美	12名
	令和元年7月20日	京都府高次脳機能障害医療関係者等研修会 講義:「高次脳機能障害者への総合的支援と他職種 連携支援の重要性」 講師:奈良県障害者総合支援センター 勝矢 千景 高次脳機能障害支援センター 河地 睦美	127名
	令和元年10月28日	関西学研医療福祉学院 (作業療法士学科生徒対象研修会)	27名

	令和2年2月2日	<p>テーマ:高次脳機能障害者の就労支援について</p> <p>講師:高次脳機能障害支援センター 河地 睦美</p> <p>高次脳機能障害職場勉強会</p> <p>講義:「高次脳機能障害の症状とその対応方法」</p> <p>講師:高次脳機能障害支援センター 河地 睦美</p>	15名
家族会主催 実行委員会 協力	令和元年11月17日	<p>奈良県高次脳機能障害リハビリテーション講習会</p> <p>講演:「高次脳障害 理解と支援」</p> <p>講師:元横浜市総合リハビリテーションセンター 臨床心理士 山口 加代子</p> <p>講演:「高次脳機能障害者看護 気づきへの支援」</p> <p>講師:回復期病棟編 奈良県総合リハビリテーションセンター 看護師 山田 祐子 自立訓練センター編 奈良県総合リハビリテーションセンター (元奈良県障害者総合支援センター) 看護師 須内 陽子</p>	160名

ウ 高次脳機能障害支援事業

専門職(心理士・精神保健福祉士)による高次脳機能障害特性に応じた

SST(ソーシャルスキルトレーニング)開催: 令和元年度 合計7回開催 参加者5名

エ 地域相談機能の充実

高次脳機能障害支援地域相談会開催

開催回	開催日	開催場所	参加人数
第1回	令和元年11月4日	奈良県社会福祉総合センター・研修室A	4名
第2回	令和2年1月26日	奈良県文化会館 会議室 2	14名

4 県営福祉パーク(介護実習・普及センター)の運営状況

県営福祉パークでは、高齢者や障害者を含め訪れたすべての人が見て・触れて・体験しながら学べる場所として、公共施設モデル、多目的広場等の屋外施設や福祉住宅体験館の維持管理に努めた。

介護実習・普及センターでは、要介護者等からの各種相談に応じるとともに、介護、実習を通じて介護知識・技術の普及啓発に努めた。また、展示の福祉機器をできるだけ最新機器に更新する等の取り組みを行った。

今年度は16団体の後援を得て、「みんなで見て、触れて、試して、体験しましょう」のテーマで、第4回福祉機器展を開催し、約600名の参加者があった。

ア 相談事業の実施状況

区 分	件 数	相 談 者 数
令和元年度	1,373 件	1,690 人
平成30年度	1,373 件	1,673 人

イ 介護講座等の実施状況

講 座 名	実 施 回 数	受 講 者 数
介護体験講座	156 回	2,537 人
介護講座	8 回	153 人
高齢者向講座	8 回	126 人
福祉住宅体験館案内ボランティア育成講座	1 回	5 人
自助具製作体験講座	11 回	39 人
福祉機器展(つながり祭)	1 回	2,000 人
夏休み親子介護体験講座	1 回	6 人
介護予防講座	5 回	97 人
第4回福祉機器展	1 回	600 人
(上記のうちボランティア関係分)	(3 回)	(11 人)
計	192 回	5,563 人
平成30年度	187 回	5,593 人

ウ 福祉パーク・福祉住宅体験館利用状況

区 分	団 体 数	利 用 者 数
個人利用者		74,803人
団体見学	156	2,537人
計	156	77,340人
平成30年度	149	78,718人

エ 福祉機器展の開催状況

○奈良県福祉フェア第4回福祉機器展in奈良2019

開 催 日 : 令和元年9月21日(土) 10:00~15:00

開催内容 : 福祉機器展示

参加人数 : 約600人

- ・福祉機器展
- ・YAMATO超人ナライガー(奈良のご当地ヒーローショー)
- ・ふうせんアート
- ・健康体操
- ・バザー
- ・自助具展示
- ・障害者作品展
- ・模擬店
- ・団体見学
- ・その他 せんとくん、ももたん、タワラモトン出演

5 職員の状況

○ 職員数

(単位:人)

		平成30年度 当初職員数	令和元年度 当初職員数	増減	備考
職員		60(7)	57(6)	△3(1)	病院機構との併任(事務部) H30:5→ R1:5
内 訳	事務部	8	8	0	
	施設部	51(7)	48(6)	△3(1)	
	福祉パーク	1	1	0	

日々雇用職員を除く ()は非常勤職員数((内数)